2020
5月号

＊原水協通信

国連ＮＧＯ原水爆禁止日本協議会
毎月１回６日発行
頒価　２２０円
電話　(03)5842-6031
FAX (03)5842-6033
〒113-8464 東京都文京区湯島 2-4-2-4-

原水爆禁止大阪府協議会　大阪市中央区谷町７－３－４　新谷町第３ビル２１０号　tel(06)6765-2552 fax(06)6765-2837

核固執勢力は核軍拡・軍事費予算を新型コロナ対策に回せ！
･･･広島に結集しない８月原水爆禁止世界大会を創意工夫の大会に･･･

非核の政府・自治体・ヒバクシャ・市民の共同の力で
２０２０年に核なき世界を、核兵器禁止条約の発効を

新型コロナウイルス感染拡大の事態に応じて、「核兵器廃絶、気候危機の阻止と反転、社会的経済的正義のために」をテーマにした原水爆禁止世界大会（ニューヨーク）がオンラインで４月２５日、開かれました。これは、中止となった世界大会ニューヨーク実行委員会の企画委員会が主催したもので、日本からは日本被団協、日本原水協、原水禁が呼びかけたものです。

「核兵器廃絶のためのたたかいと現局面」パネルでは、五名の方が発言されました。日本被団協の和田征子さん（写真右上）は被爆者の苦しみと核兵器廃絶の強い思いを、日本原水協の高草木博さんは核保有国と核依存国に対し国連総会第一号決議「原子兵器廃絶」の実行を迫り、その資源を人類と地球を守るために使うべきだと主張しました。また、１７歳の環境問題活動家のシエ・バスティダさん（写真右二番目）は「核兵器問題でも一番影響を受ける世代として運動に参加しなければならない」と話しました。中満泉国連軍縮担当上級代表（右２列３段目）は、ヒバクシャ国際署名の重要性を指摘、被爆者と若者がつながることの大切さ、使われようとする核兵器の今日、未曽有の人類的危機の脅威を訴えています。

パネル２「行動と優先課題」では、四名の方が発言されました。労働団体の代表、中東の非核化を求める団体、貧困問題を訴える団体、そして国際平和ビューローの代表です。これらの様子は録画されていますので、視聴できます。（英語での視聴です。詳細は下表）

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

日本原水協の全国常任理事会が４月１６日オンラインで開催されました。議題は、コロナウイルス問題との関係で日本原水協の取り組み①３・１ビキニデー、ニューヨーク世界大会の中止とその代替措置としてのオンラインで結ぶオンライン世界大会を４月２５日に開催すること②いまこそ原水爆禁止運動の役割発揮すること、国連のグテーレス事務総長が３月２３日に人類的な脅威に直面している現状のもとで「自国優先主義」などの対立や分断ではなく、国際協調と連帯が求められていると強調、“使える核兵器”へ米ロが突き進む今日の情勢は、いったん核兵器を使うならば全面核戦争となり、コロナの人類的脅威以上の脅威を地球上にもたらします。

被爆７５年の今年、日本の原水爆禁止運動が被爆者とともに「核兵器のない平和で公正な世界」への展望と行動を全国と世界に発信しなければならない、との提案です。

具体的に２０２０年世界大会の持ち方と「平和の波」行動が提案されました。

オンライン世界大会ＮＹを実施(４月２５日)

ニューヨーク 9-11、ヨーロッパ 15-17、東アジア 22－24

地球をかけめぐる

広島・長崎に結集しない
創意工夫した世界大会を！

オンライン世界大会を８月６日、９日に全国各地とつなぐ新発想・創意ある大会を企画します。

大阪原水協は広島大会へ４００名の代表派遣を提起していましたが、今日の状況を鑑みて旅行業者にホテルと新幹線をキャンセルしました。加盟団体におきましては、すでに予約などをしておられましたら、速やかにキャンセルなどをしていただきたいと思います。

８月６日、９日の原水爆禁止世界大会の具体的なとりくみは、今後の機関会議で加盟団体のご意見を集約しながら決めていきたいと考えています。

オンライン世界大会NYの視聴案内

https://worldconference2020.org/

または

日本原水協ＨＰの「動画」サイトにｱｸｾｽを！

核兵器禁止条約批准国

36か国（あと14か国で50か国に）

ヒバクシャ国際署名数

５９万８１８４筆（４月30日現在）

署名のお願い

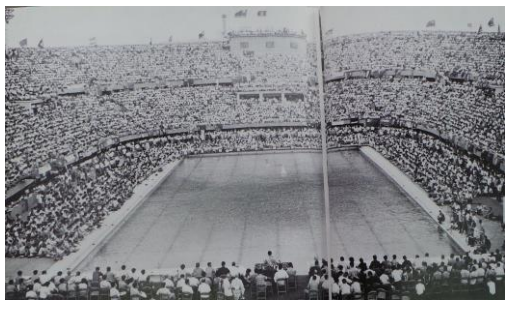
コロナ感染で外出できにくい状況です。大阪原水協のホームページにWEB署名ができるようにアップしてあります。これらを利用していただければありがたいです。

歴史を切り拓いてきた原水爆禁止世界大会

アーカイブ 2000 年以前（前半）

▲1963 年第９回世界大会
総評・社会党による大会会場キャンセルの妨害に青空分科会を開催、統一をもとめる大阪の高校生代表団など活躍、ソ連などの策動を克服して大会を成功させる（8.6 広島）

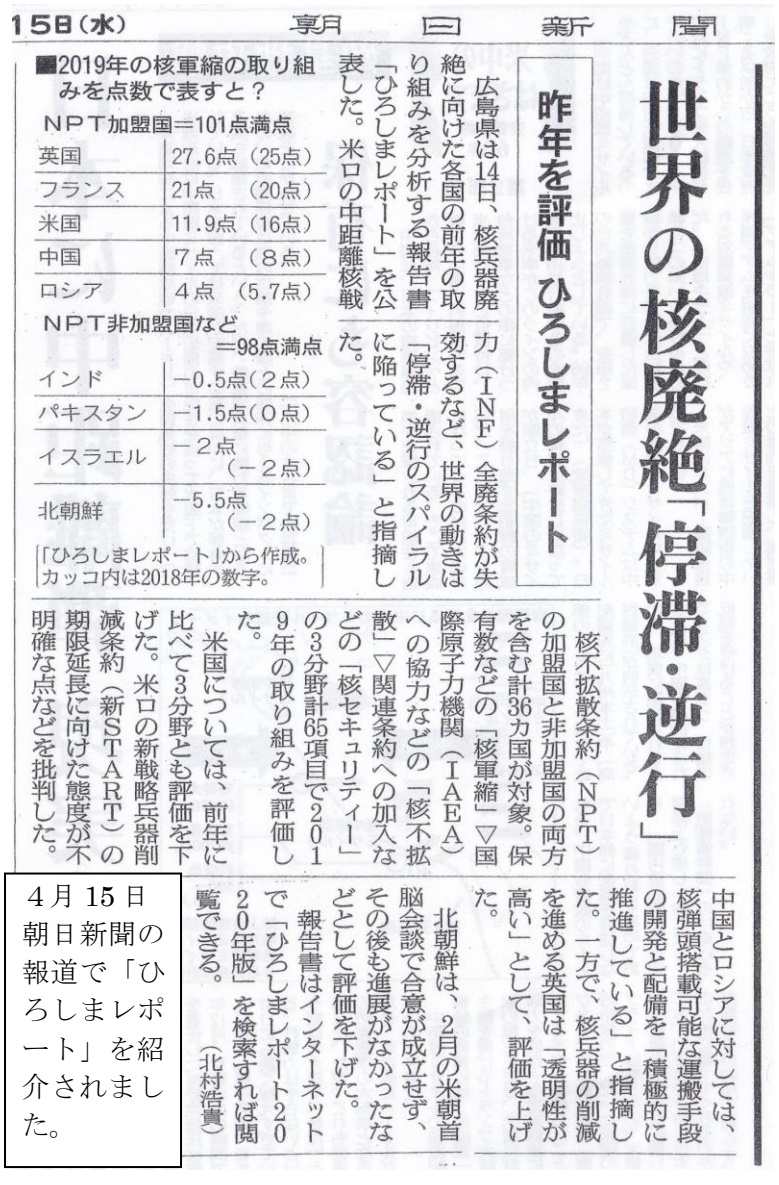
☜1957 年第３回世界大会
大阪原水協初代会長となる小畑忠良大阪平和を守る会代表が世界大会で世界平和評議会コロンボ総会の報告、150 名の大代表団を送った大阪代表団（8.12 東京）
※大阪原水協は 1958 年 3 月 22 日結成



▲1964 年第 10 回世界大会
大阪総評・社会党が統一に背を向けるなかで大阪原水協再開後の世界大会は、大阪が閉会総会の場となります。旧大阪プールを満杯にした世界大会は大阪の平和勢力の奮闘で大成功をおさめます。
※ベトナム代表が８月２日に米国による陰謀のトンキン湾事件をこの会場で告発し、ベトナム支援の運動が大きく広がっていきます（8.5 大阪）

▲1972 年第 17 回世界大会
能勢ナイキ基地反対の運動の最中の大会にゼッケンをつけて参加する大阪代表団

▲1990 年世界大会
５年間にわたって取り組まれてきた「ヒロシマ・ナガサキアピール署名」の府民過半数を達成したことを世界大会（広島大会の開会総会）で報告する新宮良正大阪原水協理事長
大阪から５５９名の大代表団が広島に派遣されました。（8.4 広島）



15日（水）　朝日新聞

世界の核廃絶「停滞・逆行」

昨年を評価 ひろしまレポート

広島県は14日、核兵器廃絶に向けた各国の前年の取り組みを分析する報告書「ひろしまレポート」を公表した。米ロの中距離核戦力（INF）全廃条約が失効するなど、世界の動きは「停滞・逆行のスパイラルに陥っている」と指摘した。

■2019年の核軍縮の取り組みを点数で表すと？

NPT加盟国＝101点満点

英国	27.6点（25点）
フランス	21点　（20点）
米国	11.9点（16点）
中国	7点　（8点）
ロシア	4点　（5.7点）

NPT非加盟国など＝98点満点

インド	−0.5点（2点）
パキスタン	−1.5点（0点）
イスラエル	−2点（−2点）
北朝鮮	−5.5点（−2点）

「ひろしまレポート」から作成。カッコ内は2018年の数字。

核不拡散条約（NPT）の加盟国と非加盟国の両方を含む計36カ国が対象。保有数などの「核軍縮」▽国際原子力機関（IAEA）への協力などの「核不拡散」▽関連条約への加入などの「核セキュリティー」の3分野計65項目で2019年の取り組みを評価した。

米国については、前年に比べて3分野とも評価を下げた。米ロの新戦略兵器削減条約（新START）の期限延長に向けた態度が不明確な点などを批判した。

中国とロシアに対しては、核弾頭搭載可能な運搬手段の開発と配備を「積極的に推進している」と指摘した。一方で、核兵器の削減を進める英国は「透明性が高い」として、評価を上げた。

北朝鮮は、2月の米朝首脳会談で合意が成立せず、その後も進展がなかったなどとして評価を下げた。

報告書はインターネットで「ひろしまレポート2020年版」を検索すれば閲覧できる。（北村浩貴）

４月 15 日朝日新聞の報道で「ひろしまレポート」を紹介されました。

4月の注目するマスコミ報道

お薦めの書籍

自宅での学習テキストに如何ですか

『被爆 75 年―核兵器依存政府から禁止･廃絶政府へ』

昨年末の 12 月 14 日に開催された非核の政府を求める会のシンポジウムをまとめたパンフレットです。
ご希望の方は
頒価 1000 円
問い合わせ：非核の政府を求める会　へ
（℡03-5844-6588）

【お知らせコーナー】
「第２回地域・団体代表者会議」　※コロナ感染などの事情で変更することもあります
日時：５月２７日（水）午後
場所：大阪府立社会福祉センター（谷町７丁目）

【お願い】
1955 年から始まった原水爆禁止世界大会は６５年の歴史を刻んでいます。各年度の世界大会の写真を収集しております。ご自分が参加した世界大会の写真をご提供ください。スナップ写真でもＪＰＥＧでも結構です。お持ちの方は原水協・平和委員会ライブラリー係にお送りください。　Ｅmail:osk-gensuikyo@piano.ocn.ne.jp